広島県の農林水産業の概要

特徴・取組

広島県は、北部は中国山地の南側に位置し、瀬戸内海に面する南部は小規模の平地が広がるほか、数多くの島々を擁し、県内のほとんどが中山間地域となっている。また、南部は広島市、福山市を中心に大消費地を形成している。
北部は積雪寒冷地域であるが、南部は温暖で年間を通じて晴天が多く、降水量は年間1,500㎜以下と少なく、平均気温は16℃前後である。

広島県の産業構造をみると、「ものづくり」を軸として、造船・鉄鋼・自動車などの重工業から電気機械・電子部品などの先端産業まで、バランスのとれた層の厚い産業群を形成している。
また、２つの世界文化遺産（原爆ドーム、厳島神社）等の豊富な観光資源により国内外から多くの観光客が訪れ、観光が成長を支える産業の一つとなっている。

広島県では、北部高冷地から沿岸島しょ部地域に至る多様な自然状況を生かして、米、野菜、果樹、畜産を基幹とした多様な農業を展開している。
水産業は、漁業産出額の約７割をかき（養殖）が占めている。また、小型漁船による釣り、刺し網、底引き網、船びき網漁業が主に行われている。

『生産性の高い持続可能な農林水産業の確立』を基本理念とする2025広島県農林水産業アクションプログラムを策定。
今後、広島県では人口減少や少子・高齢化が進むことが予測され、特に中山間地域においては、より厳しい環境変化が見込まれることから、中山間地域の基幹産業である農林水産業においては、経営力の高い経営体が中心となって、持続可能な生産構造を構築していくことが重要であり、あわせて集落や里山里海などを含めた環境が維持されていくことを想定している。

主な農林水産物

レモン

島しょ部を中心に栽培され、全国の収穫量の過半数を占める。

（収穫量全国１位）

かき類（養殖）

かきの養殖に最適な環境に恵まれ、全国の収獲量の過半数を占める。

（収獲量全国１位）

わけぎ

備後（びんご）南地域で古くから栽培されており、全国の収穫量の過半数を占める。
（収穫量全国１位）

イチジク

主に備後南地域で栽培され、数少ない日本いちじく（蓬莱柿：ほうらいし）の産地を形成。
（収穫量全国６位）

水稲

多くの品種が栽培され８～10月まで刈取りが続く。ほとんどが県内で消費される。
（収穫量全国25位）

かんきつ類（レモン以外）

島しょ部を中心に傾斜地を利用して、温州みかん、ハッサク、シラヌヒ、ネーブルオレンジ等が生産されている。
（収穫量全国順位）
ネーブルオレンジ：１位
ハッサク：２位
シラヌヒ：５位
ナツミカン：７位
イヨカン：７位
みかん：８位

くわい

福山市で栽培され、全国の収穫量の過半数を占める。

（収穫量全国１位）

鶏卵

飼料を工夫した卵や生産履歴が追跡できる卵などが、主に備後北地域で生産されている。
（生産量全国３位）

ばれいしょ

安芸、備後南地域の沿岸部の赤土地帯で栽培され、「まる赤ばれいしょ」として知られている。
（収穫量全国12位）

広島県内の各地域における農林水産物

安芸地域

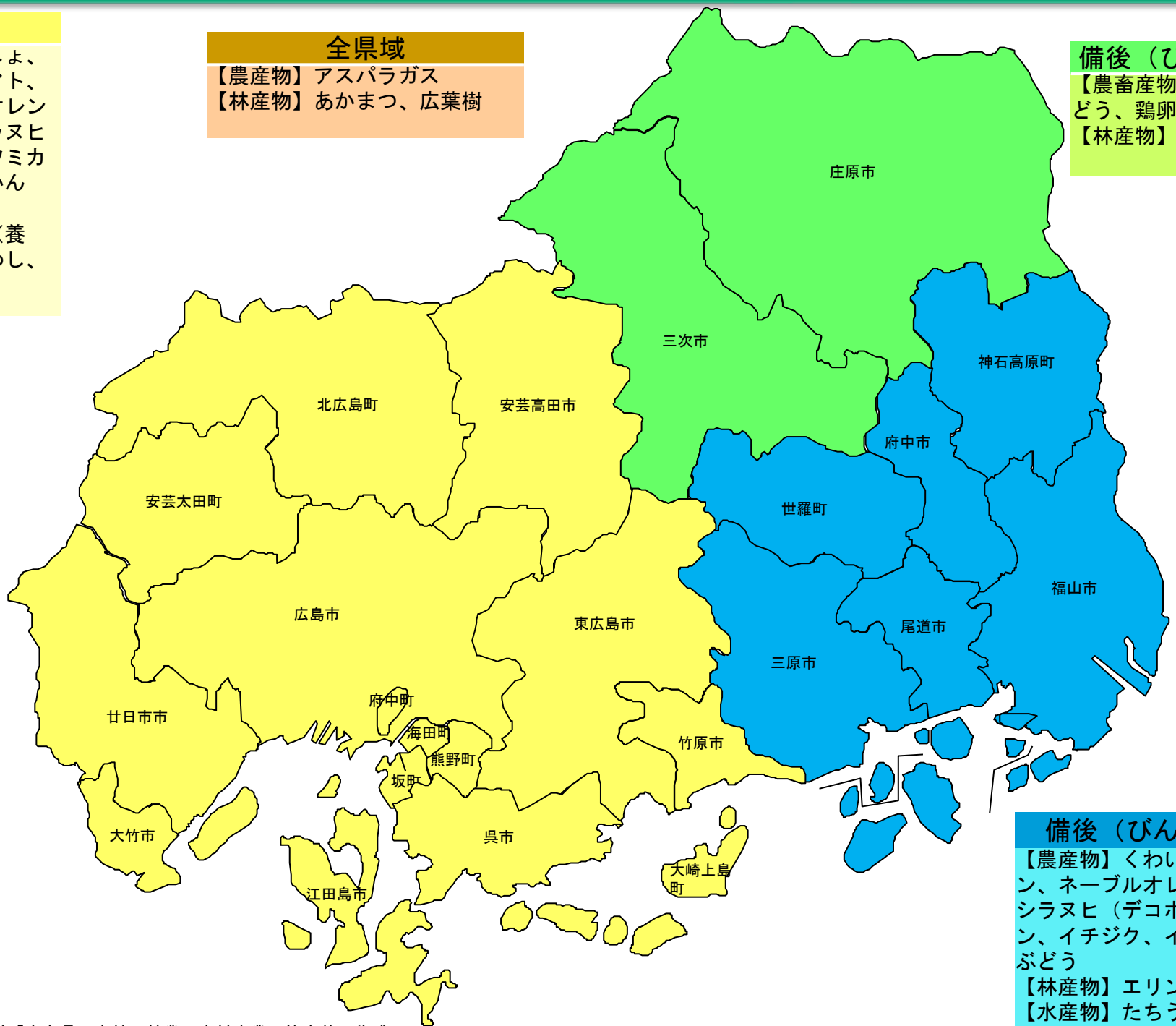
【農産物】ばれいしょ、ほうれんそう、トマト、レモン、ネーブルオレンジ、ハッサク、シラヌヒ（デコポン）、ナツミカン、イヨカン、みかん
【林産物】ひのき
【水産物】かき類（養殖）、かたくちいわし、しらす、たちうお

全県域

【農産物】アスパラガス
【林産物】あかまつ、広葉樹

備後（びんご）北地域

【農畜産物】水稲、ねぎ、ぶどう、鶏卵、肉用牛
【林産物】ひのき



備後（びんご）南地域

【農産物】くわい、わけぎ、レモン、ネーブルオレンジ、ハッサク、シラヌヒ（デコポン）、ナツミカン、イチジク、イヨカン、みかん、ぶどう
【林産物】エリンギ、ぶなしめじ
【水産物】たちうお、ガザミ

出典：広島県ホームページ「広島県の森林・林業・木材産業」等を基に作成

広　島　県　の　農　業　（　1　）

・耕地面積は５万1,800haで全国27位。うち田が3万9,200ha、畑が1万2,700ha。
・農業経営体数は2万2290経営体で全国21位。うち法人経営体が697経営体で16位。
・認定農業者数は1,337経営体で全国41位。うち法人が495法人で23位。

耕地面積

区　分	広　島　県	全　国	全国順位
耕地面積	51,800 ha	4,325,000 ha	27
田	39,200 ha	2,352,000 ha	24
畑	12,700 ha	1,973,000 ha	31
普通畑	7,040 ha	1,123,000 ha	29
樹園地	5,020 ha	258,600 ha	16
牧草地	622 ha	591,300 ha	21
参考）総土地面積	847,900 ha	37,797,356 ha	11

出典：「令和4年耕地面積（7月15日現在）」、「令和5年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」（国土交通省国土地理院）

荒廃農地面積

区　分	広　島　県	全　国	全国順位
荒廃農地面積	7,887 ha	259,502 ha	13

出典：「令和3年度の都道府県別の荒廃農地の発生状況」

担い手への農地の集積状況

区　分	広　島　県	全　国	全国順位
担い手への集積面積	13,409 ha	2,560,109 ha	34
集積率	25.4 %	58.9 %	40

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料（令和3年度版）」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方
・令和5年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
・表中に使用した記号は次のとおり
「0」：単位に満たないもの（例：0.4t→0t）
「－」：事実のないもの
「…」：調査を欠くもの
「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。
「＊」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区　分	広　島　県	全　国	全国順位
農業経営体数	22,290 経営体	1,075,705 経営体	21
法人経営体	697 経営体	30,707 経営体	16
総農家数	45,335 戸	1,747,079 戸	16
販売農家	20,861 戸	1,027,892 戸	21
参考）世帯総数	1,243,527 世帯	55,830,154 世帯	11
集落営農数	651 集落営農	14,364 集落営農	7

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）、「集落営農実態調査（令和4年2月1日現在）」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区　分	広　島　県	全　国	全国順位
基幹的農業従事者数	24,534 人	1,363,038 人	26
男	14,795 人	822,144 人	25
女	9,739 人	540,894 人	26
65歳以上	20,481 人	948,621 人	22
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	83.5 %	69.6 %	－
認定農業者数	1,337 経営体	222,442 経営体	41
法人数	495 法人	27,974 法人	23
参考）総人口数	2,799,702 人	126,146,099 人	12

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「認定農業者の認定状況（令和4年3月末現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

広　島　県　の　農　業　（　２　）

・農業産出額は1,213億円で全国26位。うち米が222億円、果実が161億円、鶏卵が280億円。
・農畜産物の生産状況は、レモン、くわいが全国１位、鶏卵が３位。
・農業生産関連事業は、農産加工の年間販売金額が123億円で全国25位、事業体数は570事業体で27位。

農業産出額

区　分	広　島　県	全　国	全国順位
農業産出額	1,213 億円	88,384 億円	26
米	222 億円	13,699 億円	25
麦類	x 億円	709 億円	－ ＊
雑穀	0 億円	78 億円	28
豆類	1 億円	697 億円	39
いも類	10 億円	2,358 億円	23
野菜	242 億円	21,467 億円	30
果実	161 億円	9,159 億円	14
花き	26 億円	3,306 億円	37
工芸農作物	1 億円	1,727 億円	42
その他作物	x 億円	587 億円	－ ＊
畜産	545 億円	34,048 億円	16
肉用牛	77 億円	8,232 億円	24
乳用牛	65 億円	9,222 億円	25
生乳	57 億円	7,861 億円	25
豚	91 億円	6,360 億円	20
鶏	309 億円	9,364 億円	10
鶏卵	280 億円	5,470 億円	4
ブロイラー	19 億円	3,740 億円	25 ＊
その他畜産物	3 億円	869 億円	19
加工農産物	0 億円	549 億円	37

出典：「令和3年生産農業所得統計」

農畜産物の生産状況

区　分		年次	広　島　県	全　国	全国順位
ばれいしょ	収穫量	R3	7,150 t	2,175,000 t	12
みかん	収穫量	R3	22,000 t	749,000 t	8
シラヌヒ	収穫量	R2	3,160 t	38,854 t	5
ネーブルオレンジ	収穫量	R2	1,890 t	3,624 t	1
ハッサク	収穫量	R2	4,339 t	25,716 t	2
レモン	収穫量	R2	4,861 t	8,635 t	1
イチジク	収穫量	R2	494 t	10,750 t	6
くわい	収穫量	R2	111 t	202 t	1
わけぎ	収穫量	R2	346 t	698 t	1
鶏卵	生産量	R4	136,315 t	2,596,725 t	3

出典：「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況」、「畜産物流通統計」

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区　分		広　島　県	全　国	全国順位
農産加工	総額	12,325 百万円	953,268 百万円	25
	事業体数	570 事業体	30,550 事業体	27
農産物直売所	総額	14,868 百万円	1,046,385 百万円	32
	事業体数	470 事業体	22,680 事業体	22
観光農園	総額	740 百万円	32,634 百万円	16
	経営体数	70 経営体	4,990 経営体	19
農家民宿	総額	38 百万円	3,992 百万円	24 ＊
	経営体数	30 経営体	1,180 経営体	9 ＊
農家レストラン	総額	292 百万円	30,336 百万円	38 ＊
	事業体数	20 事業体	1,260 事業体	19 ＊

出典：「令和3年度6次産業化総合調査」

広　島　県　の　林　業

・林業産出額は87億円で全国21位。うち木材生産が47億円、栽培きのこ類生産が39億円。
・林産物の生産状況は、素材生産量が全国19位、えのきたけが９位、まつたけが６位。

林業産出額

区　分	広　島　県	全　国	全国順位
林業産出額	86.7 億円	5,456.6 億円	21
木材生産	46.7 億円	3,254.1 億円	19 ＊
栽培きのこ類生産	38.8 億円	2,091.6 億円	14

出典：「令和3年林業産出額」

林野面積

区　分	広　島　県	全　国	全国順位
林野面積	618,092 ha	24,770,201 ha	10
国有林	47,322 ha	7,153,338 ha	20
民有林	570,770 ha	17,616,863 ha	6
人工林面積	200,885 ha	10,133,111 ha	20

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」

林業経営体数

区　分	広　島　県	全　国	全国順位
林業経営体数	1,453 経営体	34,001 経営体	5
法人経営体	123 経営体	4,093 経営体	7

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」

林産物の生産状況

区　分		広　島　県	全　国	全国順位
素材生産量		347 千㎥	21,847 千㎥	19 ＊
針葉樹		267 千㎥	20,088 千㎥	24
すぎ		136 千㎥	12,917 千㎥	22
ひのき		117 千㎥	3,079 千㎥	10
広葉樹		80 千㎥	1,759 千㎥	5 ＊
生しいたけ	生産量	674 t	71,058 t	28
えのきたけ	生産量	360 t	129,587 t	9
まつたけ	生産量	0 t	39 t	6
竹炭	生産量	3 t	459 t	10

出典：「令和3年木材需給報告書」、「令和3年特用林産基礎資料」

製材工場数

区　分	広　島　県	全　国	全国順位
工場数	66 工場	3,948 工場	31
製材用素材の入荷があった工場数	66 工場	3,892 工場	31
国産材のみ	38 工場	3,138 工場	37
国産材と輸入材	24 工場	607 工場	9

出典：「令和3年木材需給報告書」

広　島　県　の　漁　業

・漁業産出額は226億円で全国18位。
・水産物の生産状況は、海面漁業のかたくちいわしが全国３位、海面養殖業のかき類が１位、内水面養殖業のうなぎが12位。
・漁業生産関連事業は、水産物直売所の年間販売金額が２億円で全国５位、事業体数は80事業体で２位。

漁業産出額

区　分	広　島　県	全　国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	226 億円	12,103 億円	18

出典：「令和2年漁業産出額」

漁業経営体数

区　分	広　島　県	全　国	全国順位
海面漁業経営体数	2,162 経営体	79,067 経営体	15
内水面漁業経営体数	53 経営体	4,772 経営体	25

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月１日現在）」

漁業就業者数

区　分	広　島　県	全　国	全国順位
海面漁業就業者数	3,327 人	151,701 人	19
男	2,760 人	134,186 人	20
女	567 人	17,515 人	12

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月１日現在）」

漁船隻数

区　分	広　島　県	全　国	全国順位
漁船隻数	3,314 隻	132,201 隻	14
動力漁船	2,471 隻	69,920 隻	11

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月１日現在）」

水産物の生産状況

区　分	広　島　県	全　国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	113,247 t	4,163,072 t	9 ＊
海面漁業漁獲量	18,104 t	3,236,431 t	27
かたくちいわし	12,542 t	119,206 t	3
くろだい	152 t	2,147 t	4
海面養殖業収獲量	95,143 t	926,641 t	2 ＊
まだい	168 t	69,441 t	12
かき類	92,827 t	158,789 t	1
内水面漁業・養殖業生産量	74 t	51,757 t	35 ＊
内水面漁業漁獲量	16 t	18,904 t	30
あゆ（天然産種苗採捕量）	0 t	48 t	3
内水面養殖業収獲量	58 t	32,854 t	29 ＊
うなぎ	8 t	20,673 t	12

出典：「令和3年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区　分		広　島　県	全　国	全国順位
水産加工	総額	7,413 百万円	170,100 百万円	6 ＊
	事業体数	50 事業体	1,470 事業体	7 ＊
水産物直売所	総額	1,923 百万円	32,443 百万円	5 ＊
	事業体数	80 事業体	820 事業体	2 ＊
漁家民宿	総額	9 百万円	5,553 百万円	33 ＊
	経営体数	10 経営体	800 経営体	16 ＊
漁家レストラン	総額	167 百万円	9,696 百万円	15 ＊
	事業体数	20 事業体	430 事業体	6 ＊

出典：「令和3年度6次産業化総合調査」

広島県の農林水産業の話題等（１）

２０２５広島県農林水産業アクションプログラム策定（令和３年３月）
基本理念『 生産性の高い持続可能な農林水産業の確立 』

広島県では、平成30年３月に策定した「農林水産業アクションプログラム 第Ⅱ期」の計画期間が令和２年度で終了し、この間の成果と課題を検証するとともに、人口減少、少子・高齢化による生産構造の弱体化やスマート農林水産業などデジタル技術・先端技術の進展、大規模災害発生リスクの高まりなどの社会情勢の変化及び県の農林水産業を取り巻く環境の変化等を踏まえ、令和３年３月、農林水産業施策の実行計画である「２０２５広島県農林水産業アクションプログラム」を策定した。

本プログラムは、令和２年10月に策定された県の総合計画「安心▹誇り▹挑戦 ひろしまビジョン」における農林水産業等の分野別計画として策定したもので、「生産性の高い持続可能な農林水産業の確立」を基本理念とし、持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）の理念を踏まえつつ、分野ごとの10年後の目指す姿を明確にし、その実現のために５年後の「目指す姿」と、今後５年間、県が主体となって重点的に取り組む内容と達成すべき目標（指標）を定め、推進していくこととしている。

農業における５年後の「目指す姿」と施策の柱

スマート農業を導入することで生産性を向上させ、地域資源や雇用労働力を有効に活用しながら規模拡大に取り組むなど、持続可能な企業経営にチャレンジする担い手が増加している。

企業経営体等の法人がリーダーとなり、地域資源を生かして付加価値の向上等に取り組むことで地域農業の魅力が高まり、また、兼業農家などの多様な主体と連携しながら継続して生産・保全活動に取り組む事例が広がりつつある。

機械によるキャベツ収穫
（スマート農業実証プロジェクト）

Ⅰ　地域の核となる企業経営体の育成
Ⅱ　スマート農業の実装等による生産性の向上
Ⅲ　新規就業者等の新たな担い手の確保・育成
Ⅳ　担い手への農地集積と基盤整備
Ⅴ　中山間地域農業の活性化

広島県の農林水産業の話題等（２）

畜産業における５年後の「目指す姿」と施策の柱

比婆牛の価値要素がさらに高まり、著名料理人の高い評価を活かすことで県内高級飲食店の取扱いが拡大し、県内の料理人にブランド和牛として認知されている。

肥育経営体の繁殖部門の導入や受精卵産子の安定供給、後継者不在の経営体の経営継承など、広島和牛の生産性を高める体制の構築を図るとともに、スマート農業や畜産ＧＡＰ等のモデル波及に取り組むことで、持続性の高い経営体の育成が進んでいる。

広島和牛の放牧
（現代和牛のルーツの一つ）

Ⅰ　持続可能な広島和牛生産体制の構築

林業における５年後の「目指す姿」と施策の柱

年間40万㎥ の県産材を持続的に生産するため、林業経営適地の集約化や担い手等の生産基盤の整備、森林に関する情報を関係者が共有して利活用するデジタル情報基盤の整備及び再造林を確実に実施するための技術基盤の整備が確立されつつある。

県産材が、生産から流通、加工、利用まで効率的に流れ、木造住宅に加え、住宅以外の建築物の県産材による木造化や木質化が進むとともに、付加価値の高い県産材製品等が市場へ浸透するなど、新たな需要が確保されつつある。

Ⅰ　森林資源経営サイクルの構築
Ⅱ　森林資源利用フローの推進

水産業における５年後の「目指す姿」と施策の柱

かき養殖においては、採苗シミュレーションシステムの活用等により生産が安定するとともに、水産エコラベル認証等の国際認証の取得が進み、海外輸出が促進されている。

海面漁業においては、資源管理や漁場整備等の資源回復に向けた取組が進むとともに、デジタル技術を活用した漁獲技術の導入・検証や担い手による組織的な出荷・販売体制の整備が進んでいる。また、瀬戸内の地魚のイメージが県民や観光客に浸透し始めている。

瀬戸内の桜鯛

Ⅰ　海外展開を見据えたかき生産出荷体制の構築
Ⅱ　瀬戸内の地魚の安定供給体制の構築